

しっかり見えていますか？

こんな姿ありませんか？

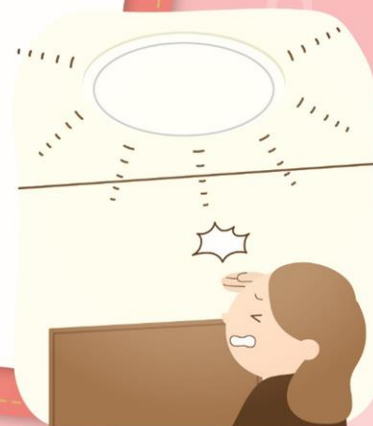
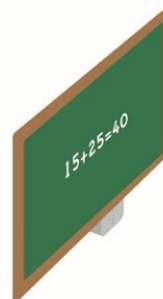
このような姿が見られたら、視力や見え方に弱さがあるかもしれません。
小さいお子さんは、見えづらいことに気づきません。

周りの大人が気づいてあげることが必要です。



当てはまるものを
チェックしてみましょう

- ☐ 遠くを見る時、目を細めている。
- ☐ 姿勢が前のめりである。
- ☐ 健診で目について指摘された。
- ☐ 片方の目を隠すと嫌がる。
- ☐ テレビやスマホ、本を近い距離で見ている。
- ☐ ボール遊びが苦手。
- ☐ トランプやカルタなどのカードゲームが苦手。
- ☐ 文字を読むことが苦手。
- ☐ 準備や片づけに時間がかかる。
- ☐ 明るいところは、極端にまぶしい。
- ☐ 薄暗くなると、急に見えにくくなる。



見え方の相談支援センター

TEL

058-262-1271

FAX

058-262-2854

Mail

c27360@gifu-net.ed.jp

詳しくはコチラから



〒500-8807 岐阜県岐阜市北野町70番地1

学習に必要な視力

視力が低いと、学習の成果が十分に上がらないことがあります。就学時健診や学校の視力検査が **B・C・D** 判定のときは、眼科を受診しましょう。必要に応じて目に合ったメガネをかけましょう。メガネをかけても視力が低い児童には、拡大教科書・視覚補助具・使いやすい文具など見え方に合わせた適切な配慮をして、見やすい環境を整えることで、学びやすくなります。

D (0.2以下)

必ず眼科受診が必要です

教室の一番前の席でもメガネやコンタクトレンズがなければはっきりと黒板の文字を読み取ることができません。

C (0.3~0.6)

必ず眼科受診が必要です

教室の真ん中より前の席でも小さな文字を読み取ることが難しいことがあります。メガネが必要な視力です。

B (0.7~0.9)

眼科受診が必要です

教室の真ん中より後ろの席にいても黒板の文字を読み取ることができます。しかし、文字が小さいと読みにくいことがあります。

A (1.0~1.5)

教室の一番後ろからでも黒板の文字を楽に読み取ることができます。

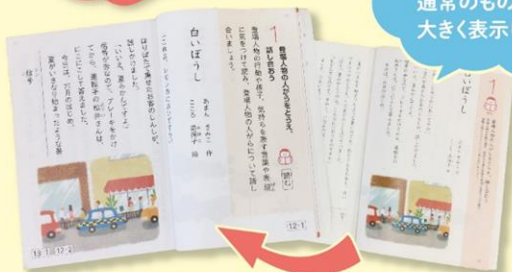


見やすい環境を整えよう

『見え方の相談支援センター』は、一人ひとりの見やすい、学びやすい環境を提案します。『見え方の相談支援センター』では、見えにくさを補って効率的に学習するための専門的なサポートを受けることができます。また、視覚補助具を試すことができます。どうぞお気軽にご相談ください。

拡大教科書

通常のものとは比べ文字や絵が大きく表示されています。



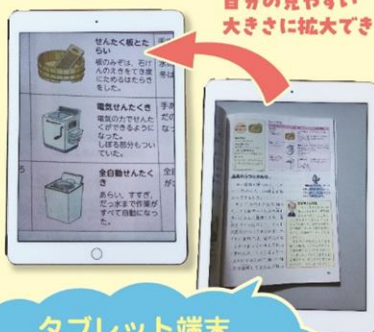
こんなに見やすくなります！

書見台

見やすい角度で教科書を置いたり、ノート・ブックを置いたりできます。



自分の見やすい大きさに拡大できます！



タブレット端末

板書や手元のものをカメラ機能で拡大表示したり、ビデオ機能や辞書アプリ等を活用したりできます。

見やすい定規、分度器

白黒反転のものや、隣り合う目盛り線の長さが変えてあります。



パルーペ

読みたいところに合わせるとその部分が拡大されます。



いっしょに考えましょう

見え方・学習支援センター
障害児・児童福祉学校
「アイラブ」
〒900-0807 札幌市東区南一条1丁目1番1号
TEL 058-262-1271 FAX 058-262-2854
E-mail: c27380@nifty.com